

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp

HPサイト http://www.kenpoukaigi.gr.jp

本号 2 巻 第 3 0 8 号

2 0 1 1 年 9 月 2 7 日

Tel 03-3261-9007

Fax 03-3261-5453

憲法講座(10月1日)に期待！ 参加申し込み受付中

特別講座(国会報告)講師は佐々木憲昭衆院議員

「2011年憲法講座」(主催首都圏憲法会議・中央憲法会議)の開催が迫りました。

清水修二先生(福島大学副学長)は、近著に「原発になお地域の未来を託せるか」(自治体研究社刊)があり、今回の講座では、震災・復興、原発事故を憲法の視点で説明していただきます。和田進先生(神戸大学教授)は、日米安保60年を振り返り、今日の9条への攻撃の特徴と大震災で動いた自衛隊への国民の「支持」の本質に迫ります。特別講座の講師に決まった佐々木憲昭日本共産党衆院議員・国対副委員長には、野田内閣の性格を明らかにし、そのもとでの憲法と比例定数削減・選挙制度をめぐる情勢について語っていただきます。

参加予約が連日寄せられ、期待の高まりを示しています。席には若干の余裕があり、引き続き参加者の募集を行っています。⇒お申し込みは上記へ電話、ファックス、メールで。また神奈川、埼玉、千葉、東京の各憲法会議でも受け付けています。

野田首相先頭に 憲法9条への攻撃次つき

就任早々アメリカを訪れた野田首相は、国連総会やオバマ大統領らとの会談、その他の会合や記者会見などで、原発の再稼働や輸出を約束、普天間基地問題について、辺野古の新基地建設を日米合意に従って進め、「沖縄を説得」することなどを表明しています。

9条への攻撃では、野田首相は、南スーダンのPKOへの自衛隊派遣を約束、その直後には30人からなる調査団が現地に向かっています。25日のNHKテレビ番組で、「本格的な派遣を前提にした調査団派遣」(前原民主党政調会長)とする一方で、賛成派から、「すぐ自衛隊でなく、ソフトの部分で協力を」(たちあがれ日本代表)などの発言もされています。

PKO5原則にも抵触する可能性がある現地の事態を考えるなら、5原則の見直しが相次いで語られている下での派遣には、武器使用の強行、既成事実化のねらいも懸念されます。

11 団体が比例定数削減反対などで国会内集会を予定 10月19日

憲法会議、全労連、東京地評、自由法曹団など11団体は、10月19日(水)午後1時30分から衆院第1議員会館多目的ホールで、比例定数削減反対・民意反英の選挙制度を求めて院内集会を開催します。集会後議員要請行動を行ないません。【チラシを2ページに掲載】

お知らせ 憲法会議・2011年拡大常任幹事会(9月30日午前11時～全労連会館)への参加未登録の幹事団体(参加団体、各県憲法会議)は、急ぎご報告を